

伏見稲荷大社周辺の 住みよいまちづくり

伏見稲荷周辺の住みよいまちづくり推進協議会理事長
林 和宏



地域の特徴と現状

- 伏見稲荷大社と住宅が隣接した生活圏が形成。観光客の動向が地域の環境へ直接的に影響。
- 新型コロナウイルス感染症流行前から外国人観光客が急増。

<観光客の急増による課題>



① ゴミ問題



② マナー問題



③ 車・歩行者の混雑問題



課題の解決に取り組むため、平成31年3月に地域団体、商店、鉄道事業者、京都市等が連携・協力し、**「伏見稻荷大社周辺の住みよいまちづくり会議」**を設立し、様々な取組を実施。

ゴミ問題

ごみ箱の設置、
小学校等との連携、
清掃活動



マナー問題

路上喫煙対策、
マナー周知・啓発



車・歩行者 の混雑問題

車の混雑緩和、
安全で歩きやすい
環境づくり、
観光分散化



地元協議会の設立・行動計画の策定

- ・ 2年にわたる取組や議論を踏まえ、令和3年3月に地域が主体となった「伏見稲荷周辺の住みよいまちづくり推進協議会」を設立
- ・ 今後概ね5年程度を視野に取り組む内容を「行動計画」として策定

行動計画概要

柱1 住民・事業者・来訪者にとって安心・安全なまちづくり

- ・ マナー啓発・周辺清掃等を行う「地域巡回員」の配置検討
- ・ 混雑緩和に向けた取組 など



道路上の看板、商品台等の撤去

柱2 伏見稲荷周辺に息づく文化の保全・継承と発信

- ・ 伏見稲荷周辺の文化・歴史を学ぶ「勉強会」の実施
- ・ 伏見稲荷周辺の文化・歴史の本質的な魅力の発信 など



公式 YouTube チャンネル

柱3 まちの美化・環境配慮型のまちづくり

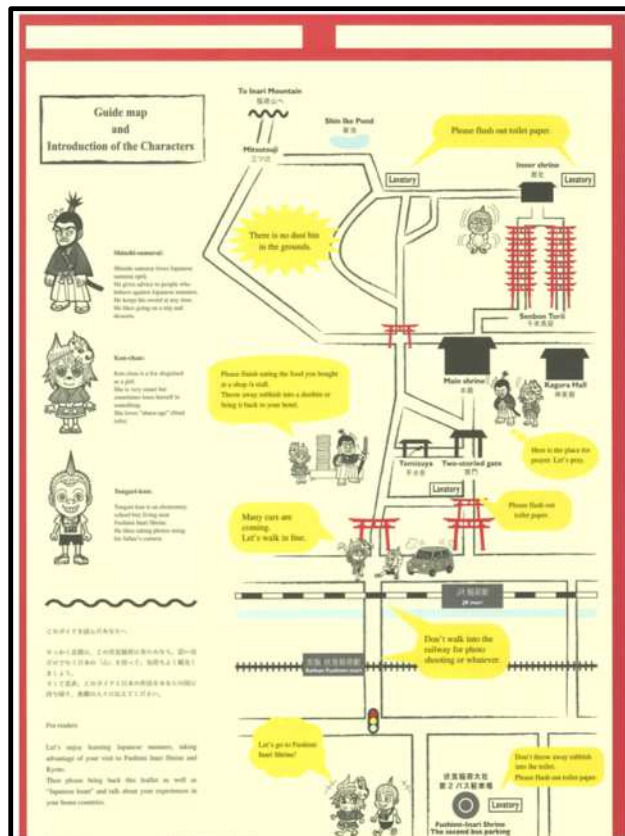
- ・ 伏見稲荷周辺のゴミ箱設置の拡充
- ・ 多言語によるマナー啓発 など



直近の取組



令和5年10月15日より、市補助金を活用し、稲荷周辺を清掃しながらマナー啓発を行う巡回員を設置



観光バス駐車場に市作成のマ
ナー啓発パンフレットを配架
(英語版・中国語版)



府警等との協議により、師団街
道伏見稻荷交差点における観光
バスの南行右折禁止規制を開始

ご清聴
ありがとうございました

